

本園の【教育目標】の実現を目指し〔教育方針〕を実行するために、2024年度10項目の重点目標を定め、その達成のために具体的方策としてそれぞれの項目に実施計画を立てその遂行に努力した。

【教育目標】

- 1. 負けない心の太陽の子（つよく）
～自分の弱い心に負けないことが本当の強さであることを知る～
- 2. お友だちを大切にする太陽の子（たたく）
～互いを尊重し、違いを認め合う心に正しい行動の源泉があることを学ぶ～
- 3. 明るく朗らかな太陽の子（のびのびと）
～主体的な遊びの中で生きる力を身につけていく～

〔教育方針〕

- 1. 創立者の願いと期待を伝える（教育目標1, 2, 3）
- 2. 一人一人の人格を尊重し、寄り添い続ける（教育目標1, 2）
- 3. コミュニケーション能力を養う（教育目標2, 3）
- 4. 自他共に大切にする心を育む（教育目標1, 2, 3）
- 5. 日常生活や遊びの中で、社会性を高める（教育目標2, 3）

〔Ⅰ〕創価教育「最初の門」に相応しい3年保育内容の充実

- 1. 学園3大記念週間・3学期「ありがとう週間」の取り組みによる心の育成
- 2. 創立者著作の創作童話を読み聞かせ等、学年に応じて保育実践に展開
- 3. モットー、3つの指針、今までの入園メッセージを学年に応じて保育実践に展開

4.3
4.0
4.1

「見解」 3大行事に向けての取り組みが本園の誇りとなっている。創立者童話の読み聞かせ等も実践されている。3つの指針については、韓国幸福幼稚園の取り組みから学ぶことがあった。世界市民教育の育成につながる方法を模索していきたい。

〔Ⅱ〕未来を創る教育課程（カリキュラム・マネジメント）の推進

- 1. 「子どもの主体的な遊びや活動を通しての学び」を育む保育実践を探求
- 2. 日常的な遊びや生活の中での非認知能力の育成
- 3. 各種行事再編成と現行の保育内容の精選を推進
- 4. 「おうちえん」や各種たよりで、保育内容の保護者理解を深める
- 5. 「きょういくポリシー」の共有と実践

4.1
3.9
3.4
4.1
3.9

「見解」 「きょういくポリシー」の共有と実践に課題が残っている。保護者への浸透も創価幼稚園の教育を推進していくために不可欠である。行事と保育内容の精選は常に検討と刷新によってよりよく変化していくものと思われる。建設的な話し合いが望まれる。

〔Ⅲ〕世界に開かれた心を育む幼児教育の充実

- 1. 海外幼稚園・姉妹校交流・創大生創価幼稚園訪問団・ゼミ生との交流の充実

4.2

2. グローバルタイムの充実	4.0
3. 専門講師によるインターナショナルタイムの充実 ～挨拶の言葉を軸に～	4.3
4. 体操教室を軸に年間を通じた基礎的な体力向上の取組み推進 ～重点取り組みの設定～	3.6
5. 食育指導の充実	4.0
6. 自然環境教育の推進（池田自然広場・園庭の植栽を通して）	3.7
7. 伸びやかな絵画制作と創造性育む制作活動の推進	3.8

【見解】 海外姉妹園との交流は実績を重ねることができた。教員の視野を広げ、さらなる本園の発展の要因にしていきたい。食育については改善が進められている。絵画を含む制作活動の共通認識を進めていくことや自然環境教育の充実も望まれる。

〔Ⅳ〕 豊かな心を育む絵本教育の充実

1. 絵本環境の充実	4.1
2. 「豊かな心を育む物語・絵本から広がる保育」の深化と交流	3.6
3. 創立者の創作童話の読み聞かせや総合的展開を各学年で充実	4.1

【見解】 これからも創立者の創作童話を使った取り組みを充実させていきたい。改めて絵本教育の重要性を学ぶ機会が必要かもしれない。

〔Ⅴ〕 「安心・安全」教育・施策の充実

1. ビーコン導入による通園バスの安全管理の充実	3.3
2. 園児バス乗車時想定訓練の充実（バス事故・車内嘔吐等への教員実地訓練）	3.5
3. 園舎内外・通園バスにおける冬季安全策の充実 ～バス運転手・警備員との連携強化～	3.9
4. 自然災害や防犯を想定した総合的な防災安全計画・防災教育、机上訓練の充実	3.9
5. 健やかな心身を育成する遊具の充実と安全管理	4.1

【見解】 今年度から導入したビーコンについては使用の有無を検討する必要あり。防災訓練は様々な状況を想定した内容を係から提案していただきたい。嘔吐処理（園内・バス内）については年度初めに実施したい。バス運転手への要望は適宜していくが、教員側も乗車時刻に遅れない等の姿勢を堅持しながら、バス運行の安全を守る協力体制を築いていきたい。

〔Ⅵ〕 寄り添い伸ばす個別支援教育の充実と保護者支援

1. 親子面談・個人面談・日常の電話連絡等で保護者との連携推進	4.3
2. シェアタイムを軸にした情報共有	3.6
3. 専門機関（おがる）や専門家（大友先生）と連携し、個別支援・保護者相談・教育講座を充実	4.2
4. 特別支援教育の研修会への参加と研修内容の共有	4.0

【見解】 おがるとの連携を継続し保護者支援をさらに充実させていきたい。特別支援教育コーディネーター育成研修を修了した先生方のさらなる活躍を期待したい。教員が保護者面談を行う場合は事前に内容を園長と共有していただきたい。

〔Ⅶ〕 就学連携・卒園生支援の充実

1. 就学先（小学校）との就学連携の充実	4.0
2. 近隣小学校との交流の充実	4.3

3. 東西創価小学校との教員交流と子どもたちのzoom交流の充実

4.2

4. 卒園生大会の充実

4.3

【見解】 福住小訪問交流・東西小とのzoom交流も2年目を迎えた。幼少連携の継続と発展をさらに模索していきたい。東西小への教員研修、卒園生大会も引き続き充実させていきたい。

〔Ⅷ〕 豊かな幼児期を支える子育て支援の充実

1. 延長保育「ひつじっこクラブ」の運用充実

4.0

2. 保護者面談の充実

4.0

【見解】 ひつじっこクラブ担当スタッフの代表者を決め、常勤教員との連携を密にしていきたい。長期休業中保育を実現する運びとなった。保護者面談は内容によって、園長・教務主任・学年主任・担任等、対応する教員を適切に決めていきたい。

〔Ⅸ〕 園児募集を推進する広報活動の充実

1. HPの充実、HPで保育の様子を発信

4.1

2. 見学会・説明会の充実

3.7

3. 3月の園児追加募集の適正実施

4.1

【見解】 来年度から2歳児プレ保育を実施することになった。入園志願者の確保のためのSNSを使った広報活動を実現していきたい。

〔Ⅹ〕 教育環境の整備と活用についての情報共有（話し合い）の推進

1. 各保育室の環境整備

3.9

2. 園舎・園庭の環境を生かした新しい遊び文化の計画

3.9

3. 遊びについての情報共有（話し合い）の充実

3.7

【見解】 保育室の環境整備をしっかりと持続していきたい。遊びについて多くの話し合いの場を作る方針に変わりはない。公開保育は、あくまでも日常の充実の上にあるとの共通認識を持って臨みたい。

◆各項目5段階評価の目安

- A（5）…取り組みが十分に進んだ／十分な取り組みが出来た
- B（4）…取り組みがある程度進んだ／ある程度しっかり取り組めた
- C（3）…取り組みが少しは進んだ／取り組みが進んだ部分もあった
- D（2）…進んだ取り組みもあれば後退したものもある
- E（1）…取り組みが後退した／これまでに比べて取り組みが出来なかった

◆園内評価実施にあたって

- 1) 上記の各項目評価は5段階とし、記述評価と共に全教職員で実施した。

- 2) 自己評価にあたっては、2月に全保護者を対象としたアンケートを実施し、保育の重点や子育て支援等についてご意見を伺い、園内評価委員会にて、課題と今後への取り組みに反映させた。

◆学校関係者評価委員の皆様からの評価（別紙に詳細）

愛園会・宝珠会・創陽会それぞれの立場から、本園に対する過大な感謝の言葉をいただいた。愛園会・創陽会からは園児確保への意欲・ご助言もあった。来年度もさらに関係者の皆様からご理解ご支援をいただけるよう精進して参りたい。

◆財務状況

例年、5月度評議員会・理事会により、適正であると認めて頂き、8月の公表に進む。